



令和7年1月29日

地球観測推進部会において 「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」を策定しました

科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会 地球観測推進部会において、我が国の地球観測の推進やその成果の利活用等について審議を行い、本年1月、別紙のとおり、「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」を策定したので、お知らせします。

「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」（以下「実施方針」という。）は、我が国における地球観測の推進やその成果の利活用等に向けた、10年程度先を見据えた5年程度の基本的な方針です。地球観測推進部会において、平成27年8月に第1期実施方針が策定され、このたび、令和7年1月24日に第2期実施方針が策定されました。

第2期実施方針では、国や地方公共団体にとどまらず、企業等においても、地球観測活動からデータの利活用までの取組が進んでいる現状を踏まえ、地球観測データ等の多様なデータを統合し、具体的な課題解決に必要な知識や洞察を提供し、貢献する「地球インテリジェンスの創出」をテーマとしています。

また、地球観測データ等の更なる利活用に向け、地球観測データの創出、社会科学に関するデータ等との統合・分析、評価・価値化、エンドユーザーの利活用、更に観測現場へのフィードバックを含む、地球観測の「データバリューチェーン」の実現が必要であると提言しています。

文部科学省では、新たに策定された第2期実施方針を踏まえ、関係府省と連携し、地球観測の推進とその成果の利活用を進めてまいります。

本実施方針について、文部科学省ウェブサイトに掲載します。

URL: https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gi_jyutu/gi_jyutu2/111/1422531_00002.htm

<担当> 研究開発局 環境エネルギー課
環境科学技術推進官 松原（内線 4470）
地球観測推進専門官 中川（内線 4478）
調査員 中里（内線 4181）
電話：03-5253-4111（代表）
03-6734-4181（直通）